

禅スタデイ ソサイエテイ

島野 T. 栄道老師、住持

註；この手紙は島野より露光宛の手書きによる下書きです。読者は文章の一部に誤謬を発見されるかも知れません。

親愛なる露光

私は貴女の美しい手紙と、“最終”の序文と用語解を受け取りました。宗淵老師の嗣法、龍沢寺前住持、鈴木宗忠老師（1921-1984）と、宗淵老師の嗣法、臨済宗本部の一つ方広寺前住持、藤森弘禅老師（1925-1984）。

また、私は、ボブ エイトケンとフィリップ カプロウの名を、私の序文から削除し、更に、用語解からも削除します。事情によって、貴女が序文を変更したように、私はこの二人といかなる立場においても、いかなる水準においても、関係を持ちたくない為に、このような処置を取るに至った理由を貴女は理解出来ると思います。私の意見としては、ユダヤ系キリスト清教徒が、仏教徒の袈裟を着て、“自由の国における禅創始者の一員”として名を列ねたいと言う必死の望みが、見え透いているのです。彼らには禅の伝法というものがいかなるものか、いかに行われるものか分かっていません。私は、彼らの洞察力というものにさえ疑問を抱いています。私とは関係のない事です。もし、彼らが倫理の自警団員たらんとするならば、勝手にするがいい。しかし、私の仏法の流れは、白隠に始まり、東嶺に、玄峰にそして宗淵と伝えられたもので、些か違うのです。私は些かと言いましたが、実は大いに違うのです。

二三日前、私は夢を見ました。夢の中で、宗淵老師が黒い袈裟で現れ、微笑しながら“心配するな”と言いました。それで私は、“何の心配ですか”と尋ねると彼は“心配するな”と大きな声ではっきり繰り返しました。やがて彼は、仏法の事だ、ユダヤ人はキリストが救済主である事を認めないと言う事に関連していると言いました。

「手書き」による第二ページ目を参照：

私は、BA「ボブ エイトケン」とPK「フィリップ カプロウ」の名を、序文に入れたくありません。貴女のもう一つ別の序文を読んで行くうちに、貴女の暗示により、このような変更を行う事を思いついたのです。

ボブ エイトケンによる、白隠日記選を削除するよう貴女に強く勧告します。

宗淵老師の共編者として、又、彼の物件執行者として、私はこの日記の記載削除を申し渡します。